

授業科目	＊人文学入門					単位	1	
履 修	必修	関連資格	日本語教員			ナンバリング	EN10402J	
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP4-1			
担当教員	大谷 浩、林 裕二、八尋 春海、Malcolm Ross Swanson、神崎 明坤、池口 功晃、Kristen Maree Sullivan							
授業概要	人文学とはどういうものか、人文学部で学ぶ意味は何か、人文学部両学科で具体的にどういう事柄を学ぶのか、キャリア形成とはどういうことかなど、4年間の学びの土台となることを学び考える授業です。本学の建学の精神である「感恩奉仕」が各授業の基盤となります。すべて遠隔授業で行う。授業計画の「進行」で、担当者の回が変更になることもあります。							
学生が達成すべき行動目標	1 人文学とはどのような学問かを理解する。 2 人文学を学ぶ意義を理解する。 3 自らのキャリアデザインへの意識をもつ。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	90	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			60			5	65	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			30			5	35	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
人文学の基本的な知識をよく理解し、学部・学科で学ぶ上での様々な問題を考えるときに応用することができる。				人文学の基本的な知識を身につけ、それを自分の学びへの意識向上につなげることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	文化を伝える―読むことと書くこと(林) 4月12日			講義		復習： 当該部分の復習		40分

2	人文学とは何か（大谷）4月19日	講義	復習：当該部分の復習	40分
3	語学を学ぶ（スワンソン）4月26日	講義	復習：当該部分の復習	40分
4	異文化を通して日本文化を学ぶ（神崎） 5月10日	講義	復習：当該部分の復習	40分
5	歴史と観光の関わりを学ぶ（池口）5月17日	講義	復習：当該部分の復習	40分
6	人文学部での学びの姿勢（サリバン）5月24日	講義	復習：当該部分の復習	40分
7	キャリア形成を学ぶ（八尋）5月31日	講義	復習：当該部分の復習	40分
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	人文学部両学科での学びの土台となる内容ですので、積極的な取り組みの姿勢が必要です。			
テキスト	指定なし。 添付資料を配付予定。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に随時提示される予定。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	人文学部の学生にとって、知識を得たり考えたりするうえで、読書は基本になるので、読書の習慣をつけましょう。			
達成度評価に関するコメント	3 回以上の欠席は、単位認定資格を失います。 7 回の授業の全てで、授業時間内のレポートの提出が求められます。 「達成度評価」の 10%は、授業貢献度(質問等をどれくらいしたか)です。			

